



海辺・川辺調査レポート

■ 名 前 (ふりがな)	松尾 秀太郎 他計6名
■ グループ名	邑久高等学校有志
■ 学校名	邑久高等学校
■ 学 年	高3
■ 年 齢	
■ お手伝いしていただいた方の名前	

■ レポートした場所	岡山県奥郡牛窓町
■ レポートの題名	牛窓の今と昔
■ 内 容	<p>私たちは、牛窓の今と昔の写真を比べて感じたことをレポートにしました。</p> <p>Aの写真について 今はヤシの木がある。船が整備されてキレイに並んでいる。屋根付きの船が多くなった。昔は昔風の木造の家だが、今はコンクリートである。今は看板がある。</p> <p>昔は木の船が多かった。昔は大きな工場みたいなものが建っていた。今は電柱がたくさん建っている。今では全てモーターエンジンで働く船である。今も昔も船がたくさん止めてある。</p> <p>Bの写真について 昔のものと比べると、今は道がきちんと整備されており、物が多く置かれていない。昔は歩いている人などがたくさんいて、生活が感じられる。船が通路の所にそのまま乗り上げている。今は段差もついて、境目がある。今は安全のことが考慮されている。</p> <p>Cの写真について 大きな変化といえば人数としか言えないが、特に変わったものはないと言える。しかし、強いて言えば、植樹、電柱か。現在の写真は道路など人間のエゴで作られたものが多い。あと、平気で船が泊まっているのがおもしろい。しかし、交通機関が未発達であった当時でもこの人数である。そして子どもたち……。今はこんなに多くの人は見たことがない。昔のままがよかったように感じるのはなぜだろう。</p> <p>昔は浜辺にたくさんの家や店のようなものがたくさんあって、海にも</p>

たくさんの方が集まっている。とても活気があるように見える。

今は浜辺もきれいに整備されている。店も営業しているかいもないかもわからないようにひっそりと小さく建っていて、とても悲しいイメージがした。

Dの写真について

鳥居は昔も今も変わらず建っていて、昔の面影を少しは感じる。でも、昔にはない木や看板、きれいな家がたくさんあり、昔と今のギャップが感じられた。やはり、昔と比べて海の活気がなくなっている。すぐ近くには道路も出来て、なんだか海が海らしくない。ゴミがたくさんあって汚い。

Eの写真について

昔は、定期船か漁船なのかわかりにくいのだが、大型の船が多く、木のはしごを使って乗り降りをしている。今ではモーターボートなど小型の船がほとんどである。また、昔と違い、建物は増え、電信柱などが数多く作られている。道路などもよく整備されている。昔になくて今あるもので車がある。昔は今の道路のあたりまで海の水が来ている。今ではホテルがあり、バスが来ているので観光地のようなのである。船の種類が違う。どうやら生活のための船から娯楽のための船に変化している。

Fの写真について

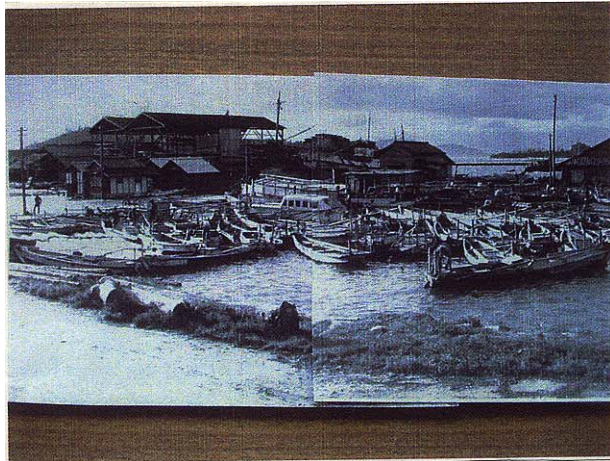
昔の船は、手こぎで、帆の形も台形の形で人数も四人くらいしか乗っていないが、今の船は、だいたいのことが自動になっている。帆の形は、一番上は高く、形は直角三角形のようになっている。人数も何十人も人が乗っている。船の後ろの景色は、昔は家などがところどころに建っているが、今は小さな島があるくらいになっている。昔のこの船は、漁に行くところだが、今の船は海の景色などを見に行くところか。帆を作っている材質も昔と今とでは変わっている。

<まとめ>

漁港中心であった牛窓が今や観光地となっている。砂浜がコンクリートになっているのは、写真の台風被害からもわかるように、災害から町を守るためには仕方がない。しかし、牛窓の海だけは汚したくない。みなさん、牛窓の海にもっと投資して、海をきれいにしましょう。環境を大切にしましょう。

■ 写真 名前

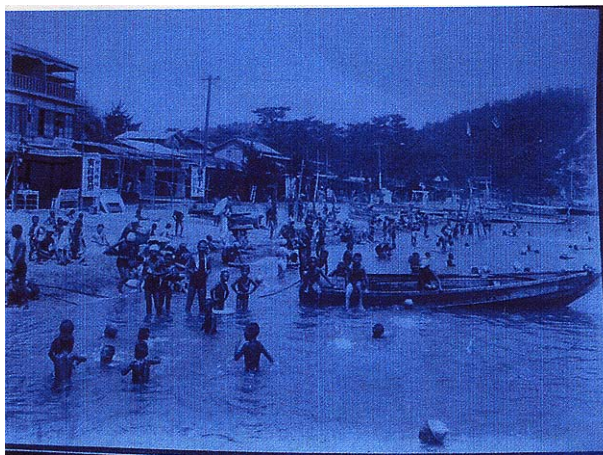
A



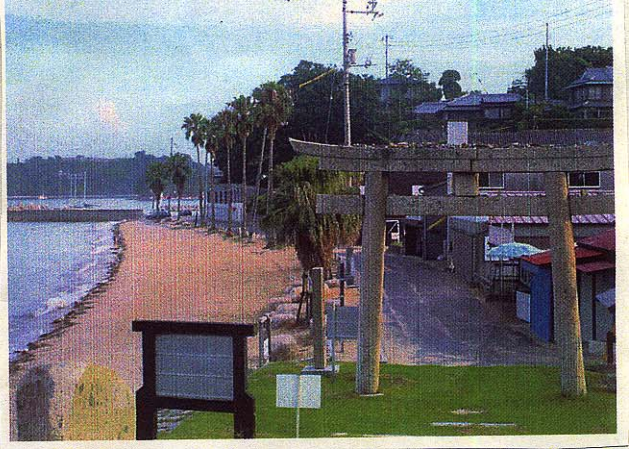
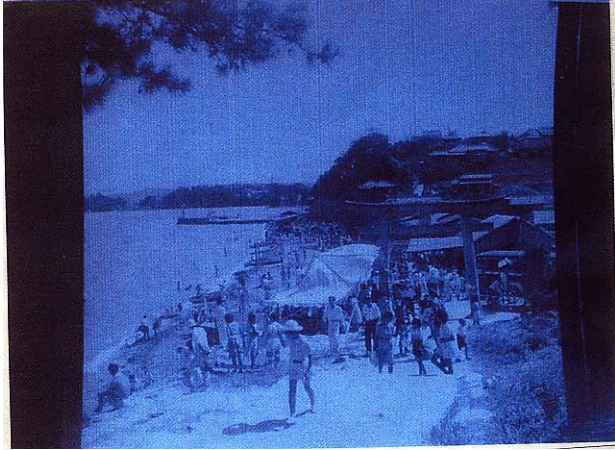
B



C



D



E



F

